

Rotary 八尾ロータリークラブ 会報

2016
vol.56
No.15

10/19



人類に
奉仕する
ロータリー

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



八尾RCバナーの主旨
「我々のクラブは、老いも若きも
相手を敬愛し、和気あいあい、
楽しいクラブライフを送っている
ことが誇りであります」

国際ロータリー テーマ

**人類に奉仕する
ロータリー**

国際ロータリー 会長 ジョン・ジャーム

八尾ロータリークラブ テーマ

**奉仕への情熱と創意を
積み重ね、品格を高めよう**

会長 山本 昌市

国際ロータリー 第2660地区 テーマ

**The Ideal of Service
ロータリーの根幹精神**

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 松本 進也

第2697回 例会 プログラム

- ▼開会「点鐘」
- ▼ロータリーソング「八尾ロータリー讃歌」
- ▼ゲストの紹介
米山奨学生 三宅 建様
- ▼ビジターの紹介
東大阪みどりRC 山片重房様
- ▼出席報告
- ▼その他の報告
- ▼会務報告
「会長の時間」「幹事の時間」
- ▼SAA報告 ニコニコ箱
- ▼卓話
「Vocational Serviceの原点を探る」
山片重房様（東大阪みどりRC）
- ▼閉会「点鐘」

▼卓話予告

10/26「ヴィジョンに生きる」

中島孝夫元会長

会長の時間

今月は「経済と地域社会の発展、並びに米山月間」です。本日卓話を頂きます若林PGは、米山記念奨学会常務理事です。またとない機会ですので、心して聴講していただきますようお願いいたします。

米山奨学事業は、半世紀以上の歴史を持つ、日本のロータリー独自の奨学制度で、事業創設の原点は、外国人留学生の支援を行う奨学事業を通じて、世界に「平和日本」の理解を促す事が創設時の願いでした。

米山奨学事業の目的が「平和と国際理解の推進」を実現する国際親善奉仕活動である事を理解し、活動を通じて交流する奨学生が、生活習慣が異なる異文化で育ってきた外国人留学生である事を十分に承知しておく事が大切です。

しかし半世紀の時を経て世界情勢や取り巻く環境も変化し、奨学制度のあり方も貧

弱救済支援型から知的国際貢献型に変化しており、この事業の捉え方にも様々な形が生じ、支援する立場の方々の心情も微妙に変化していると思います。ロータリーにも進化が求められる様に奉仕事業も時代の変化に適合する柔軟な姿勢が求められます。この様な時こそ改めて事業創設の原点を再認識する必要があると思います。

現在の日本でも、東北地方を襲った大地震によって多くの悲惨な家族を作り上げてしまっています。この様な地震や戦争が将来再び起こる可能性が我々の子供達、孫達の世代であるかもしれません。

そういった未来への危機管理の一環として世界との心の通った連帯という事が必要不可欠と思われま。米山奨学事業はそんな未来の安全を担保する一環であるはず。見返りを望まない奉仕でも必ず何か良き作用があるはず。です。

世界との友好関係を築くというのは、この複雑怪奇な世界情勢の中にあって直ぐに築けるものではないとおもいます。その意味においても、優秀で日本に対する想いを持った人材を育てる事は、必要不可欠で、継続する事業だと思います。

戦後日本人は正に欧米化の日本人です。最も近い中国や韓国を我々は、どれほど理解しているでしょうか。米山奨学生から学ぶべき事が多くあると思います。

我々ロータリアンが忘れてならないのは、奉仕事業の根本は見返りを求めない事ではないでしょうか。見返りを求める気持ちが、批判的な気持ちに変貌し、素晴らしい奉仕事業の妨げになっていないでしょうか。

日本の良き理解者を育てるという極めて息の長い奉仕事業であります。ロータリアンとして、この奉仕事業を高い視線と長い目で捉え、寛容な精神を持って続ける事が、この素晴らしい奉仕事業を成功に導いてくれるものと信じております。

(財)ロータリー米山記念奨学会にはシンボルマークが有ります。重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」です。外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた信頼関係を築き、世界平和を願う「心」を育てるという事業創設の願いが込められています。

50年以上の歴史を持ち、世界に類を見ない、RI認証の日本独自の多地区合同奉仕活動であるこの「米山記念奨学事業」を、皆様と共に広める為、今後とも御理解とご協力をお願い申し上げます。

幹事報告

- ▼8日に秋のRYLAが開催されました。
- ▼本日例会後、記念撮影を行います。
- ▼明日、四和会が開催されます。
- ▼16日に地区の米山レクリエーションが開催されます。

▼18日クリーンキャンペーンが行われます。

ロータリーの友紹介

▼クラブ広報委員会・

池尻 誠 委員

入会以来、初めて友の紹介をさせていただきます。写真で振り返る記事として、札幌オリンピックの聖火台が全国のロータリアンからの寄付で建設されたことなどが紹介されています。

財団100周年の記事では、大阪中之島RCがグローバル補助金を活用してベトナムに医療機器を寄付されています。

このほか「花いっぱいプロジェクト」として小中学校に種を寄付し、花を育てているなどところに配る東大阪RCの事業も掲載されています。

その他の報告

▼青少年奉仕委員会・

吉田 法功 委員長

8日に秋のRYLAが開催され、開講式に会長初め5名で参加しました。

また少年を守る日・家庭の日の啓発活動で、11月4日に各駅前マスクを配布します。

▼社会奉仕委員会・

宮川 清 委員長

18日にクリーンキャンペーンが開催されます。お時間がある方はご参加をお願いします。また薬物乱用の支援募金の要請がきております。

▼国際奉仕委員会・

稲田 賢二 委員長

本年度の国際大会への参加者を募集します。6月10～14日にアメリカ・ジョージア州アトランタで開催されます。

▼ゴルフ部・小谷 逸朗 会員

明日、春日台CCで秋のコンペを開催します。ご参加よろしくお祈いします。

順位	競技者名	東	中	西	GROSS	HDCP	NET
優	勝野 茂人 様	46		48	94	20.4	73.6
準優	勝野 順三 様	44		42	86	12.0	74.0
3位	三宅 博 様	41		49	90	14.4	75.6
4位	飯田 博光 様	52		45	97	20.4	76.6
5位	宇野 泰正 様	45		45	90	13.2	76.8
6位	小谷 逸朗 様	45		49	94	16.8	77.2
7位	浜岡 千寿郎 様	49		47	96	18.0	78.0
8位	中西 広美 様	57		54	111	32.4	78.6
9位	田中 康正 様	55		57	112	32.4	79.6
10位	大槻 恭介 様	57		51	108	27.6	80.4
11位	山本 勝彦 様	50		44	94	13.2	80.8
12位	児林 秀一 様	62		55	117	36.0	81.0
13位	居相 英機 様	51		51	102	20.4	81.6
14位	稲田 賢二 様	57		53	110	27.6	82.4
15位	大熊 勉 様	52		53	105	21.6	83.4
16位	山陰 恭志 様	55		58	113	28.8	84.2
17位	西村 衛 様	62		57	119	32.4	86.6
18位	野村 俊隆 様	64		60	124	36.0	88.0
19位	宮川 清 様	62		67	129	36.0	93.0

▼野球部・山本 勝彦 会員

10日に今季3、4戦目を行いました。まずは大阪中之島RCに23-3で勝ち、昨年から続く連敗記録を6でストップしました。続く試合は強豪の八尾東RC戦で、11-2と善戦したものの惜敗しました。

23日には寝屋川RCと最終戦を行います。応援をよろしくお祈いいたします。

卓 話

「ガバナー公式訪問」

▼国際ロータリー 第2660地区

松本 進也 ガバナー



【2016-17年度 RI会長方針】

まずは国際協議会でRI会長によるテーマの説明の講演映像をご覧ください。今年度のRI会長テーマは、「Rotary Serving Humanity」-人類に奉仕するロータリー- です。これは『人類への奉仕』という大きな目標に向け、リーダーシップを持ちうる会員を増やし、ポリオ撲滅をはじめ『世界でよいことをする』ため伝統を継承しようという意味です。

また、国際協議会で強調されたことが3点あります。第一に、2016-17年度はロータリー財団100周年の記念すべき年にあたることでした。

第二に、2018年のポリオ撲滅目標年を控え、ポリオ撲滅についても強い言及がありました。

最後に、会員増強です。ロータリー精神を有し、リーダーシップを兼ね備えた人材を必要とする。とのことでした。当方も全てを具体的目標に組み入れ、運営の要として参ります。

【本会議場看板】

国際協議会の本会議場であるメインホールに掲げられた看板は従来“Enter to learn, Go forth to serve”「入って学び、出でて奉仕せよ」でしたが、3年前より“JOIN LEADERS, EXCHANGE

IDEAS, TAKE ACTION”となっております。より自発的そして、活発なロータリー活動が求められていると感じました。

【第2660地区ガバナー方針】

さてRI会長テーマを受け、第2660地区2016-17年度ガバナー方針を“The Ideal of service”-ロータリーの根幹精神-と定めました。当該方針はロータリーの目的の第三項にも記載されています。

1920年、東京に我が国最初のRCを設立した米山梅吉氏は、“The Ideal of service”の日本語訳の際、「奉仕の理念」ではなく、敢えて「サービスの理念」とされました。日本語の「奉仕」は自己犠牲の意味合いがあまりにも強く、“service”の本来の意味と合致しないからです。日本のRCの祖である米山氏の意を汲み、当方も原語をガバナー方針に採用した次第です。

この「奉仕」と“service”の違いにつきまして、

*奉仕 = 一方的行為

矢印は個人から社会への一方向のみで、日本語では自己犠牲の意味合いが大きいです。

*service = 相互的行為

矢印は個人と社会を循環しています。個人から社会へは「自己の成果を提供・還元」し、結果、社会から個人へ「恩恵」が供給されます。

この図式をロータリー活動の際、常に当てはめて考えて頂きます様、周知をお願い申し上げます。

【第2660地区具体的目標】

当地区における具体的目標を次の5項目と定めました。

1. “The Ideal of service”の基本理念の周知と実践
この基本理念を地区会員全員に周知し、その精神に基づいた地区活動・クラブ活動を推奨します。この実践的意味はロータリアンの活動が真に社会に役立つもので活動及び成果が継続性を有し、相互的に享受し合えるものである、ということです。

2. ガバナー月信のペーパーレス化によるITの促進
今年度より紙媒体によるガバナー月信を停止し、地区のホームページに掲載し、またメール配信しました。この移行には三つの利点があります。第一にIT化の促進、第二に地区活動費の充実です。第三に最大の特色として、今まではクラブ毎に一定数購入し、閲覧や配布をしておりましたが、本年度からはネット環境がある全ての皆様のご都合の良い時に随時ご覧頂けるということが挙げられます。

3. ロータリー財団100周年のお祝い、ポリオ撲滅
今年度はロータリー財団創立100周年の記念すべき年であり、RIは我々へ「100周年のお祝い」を呼び掛けています。お祝いとは所謂お祭りではなく、財団が過去、RIと共に世界で成し遂げた功績を改めて振り返り、財団についての理解・参加・寄付を推進すること。とのこと。よって、補助金を使った事業の立案や例会で財団関係の卓話をして頂くなど、ご検討頂きたいです。

また、RI会長は様々な奉仕活動の中で、特に重要であるのがポリオ撲滅であると評されています。国際協議会でRI会長によるポリオについての5分程度の講演映像がありますので、ご覧ください。

人類の悲願であるポリオ撲滅が達成されれば、人類史上撲滅された病としては天然痘に続き、2番目となります。今、善いことをすれば、後世により良い世界を遺すことができます。皆様のご理解をお願いします。

4. ロータリー戦略計画の推進

今年度も引き続き、戦略計画を強く推し進めます。戦略計画の三本柱は「クラブの活性化とサポート」

「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」であります。

戦略計画は「親睦」、「高潔性」、「多様性」、「奉仕」、「リーダーシップ」の5つの観点を軸としています。先程の3本柱にはそれぞれゾーンごとに担当制であり、本年度、当地区からは3人の方が選抜されました。

まず、横山PGはロータリー公共イメージコーディネーターとして公共イメージと認知度の向上を地区、クラブに浸透する役割を担われます。次に、高島PGはロータリーコーディネーター補佐として、「クラブの活性化とサポート」を、溝畑学友委員長はロータリー財団地域コーディネーター補佐として、第2項目の「人道的奉仕の重点化と増加」につき、活動頂きます。RIは戦略計画の推進を奨励事項としております。当地区も更なる推進を目指します。

5. IM再編成

昨年12月5日の地区大会決議第8号にて「IMの在り方を決議する件」が採決され、2018-19年度の山本G年度を目処に、時代にあったIM再編成やガバナー補佐の選出方法を実行することとなりました。

当方年度は準備年度としての役割を果たし、片山G年度に継承できるよう尽力します。両案は9月24日の地区決議会で賛成多数で承認されました。

【年次寄付等年間目標】

当方年度の年次寄付等、年間目標を次のように決めました。

まず年次寄付を1名あたり\$160、ポリオ撲滅に1名あたり\$60の計\$220とさせていただきます。これは、ロータリー財団100周年の記念すべき年にあたり、RI会長の通達に「過去最高額の寄付の奨励」があり、また、国際協議会講演でもポリオ撲滅の実現を強調されたからです。そして、ベネファクターを各クラブ1名といたしました。

米山奨学委員会では、本年度より「複数世話クラブ制度」を全国に先駆けて実施します。この画期的な制度の推進の原動力となるべく、米山奨学生の寄付目標を直近3年間同様、一人当たり30,000

円といたしました。

最後に会員増強を1クラブ、純増2名といたしました。第2660地区でも会員数の減少が危惧されております。本年度の会員増強はRIが求めている数値は地区全体で3%増であります。よって、本年度第2660地区目標は各クラブ純増2名といたしました。

増強方法の選択肢として、若年層でより経済的負担の掛からない衛星クラブの設立や女性会員の加入があります。通常の増強に、このような視点を変えた増強方法も候補に入れて、目標純増2名を達成して頂たく存じます。

【2016年規定審議会】

4月10日-15日シカゴにて、2016年規定審議会が開催されました。当地区からは横山守雄規定審議会代表議員がご出席され、5月21日の規定審議会報告会にてご報告賜りました。今回の決定事項は入会金や例会頻度等、各クラブへより多くの裁量権と自治権を与えるドラスティックな内容でした。

しかし、ロータリーの目的の第3項であり、当方のガバナー方針でもある“The Ideal of service”、このロータリーの本質は変わっていないことをご承知おき頂きたく存じます。

また、斉藤RI理事より、本年の11月30日からのロータリー研究会にて本件につき、統一見解を出す事と承りましたので、ロータリー研究会後、皆様にもご報告いたします。

【我々の最終到達点】

また、RI会長はご講演の中で、我々ロータリアンを「ロータリーチーム」と呼びました。そこで当方は我々を「チーム2660」と呼ぶことといたしました。

先人が築き上げられたこの伝統ある第2660地区

を更に飛翔させるのは皆様の力の結集であります。クラブと地区、学友会との交流による「相互的行為」を皆様自身も常に念頭におかれて、第2660地区3650人が「チーム2660」として一丸となり、日本34地区を牽引する地区となることを願います。

それでは最後に12/9-10に行われます、地区大会のPR映像をご覧いただけます。なお祝能を披露頂く、能楽師である当クラブの大槻文蔵会員が7/15、人間国宝に認定されました。

最後になりましたが、貴クラブの更なるご発展と会員の皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。

ニコニコ箱

▼RI第2660地区幹事 高田祥宏様 (大阪北RC) 本日よりしくお願ひします。

▼山本(昌)会長 ガバナー松本進也様、公式訪問、ありがとうございます。御指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。

▼田中副会長 松本ガバナーようこそいらっしやいました。本日の卓話、学ばさせて頂きます。

▼山陰幹事 松本ガバナー、高田地区幹事、ようこそお越し下さいました。

▼松本会員 松本ガバナー、高田地区幹事、今日のご苦勞様です。

▼中西(啓)会員 松本進也ガバナー、高田地区幹事様、本日はよろしくお願ひします。例会欠席お詫び。

▼池尻会員 松本ガバナーお久しぶりです。宜しく御願ひします。

▼山本(勝)会員 念願の初勝利を勝ち取りました。残り1試合全力で2勝目を

取りに行きますので応援お願ひします。

▼井川会員 松本ガバナーようこそおいで下さいました。ご指導お願ひします。

▼今西会員 大阪北RC高田様、ようこそおいで下さいました。

▼飯田会員 松本ガバナー、宜しくお願ひします。高田地区幹事ようこそおいで下さいました。

▼吉本会員 松本ガバナー、高田地区幹事、ようこそお越し下さいました。ご指導よろしくお願ひいたします。

▼濱岡会員 新宮さん素晴らしいピッチングをありがとう。スカットしました。

▼新宮会員 2年ぶりに1勝出来ました。御声援ありがとうございます。

▼長竹会員 野球ガバナー杯やっとなりました。でも体はボロボロです。

▼吉田会員 ライラありがとうございます。

▼宮川会員 募金お願ひします。

▼野村会員 ついに1勝しました。早退。

▼児林会員 野球部初勝利しました。今後一致団結し頑張りましょう。

▼西村会員 山本(勝)監督をはじめ、野球部の皆様初勝利おめでとうございします。例会欠席お詫び。

▼小谷会員 明日ゴルフコンペAM8:00春日台集合、久し振りに快晴です。

▼富田会員 1年経ちました。これからも宜しくお願ひします。在籍内祝い。

▼大熊会員 ありがとうございます。ご夫人誕生内祝い。

▼幡田会員 ご夫人誕生内祝い。

■ 出席報告

月日	会員数	出席	(内出席規定適用免除者)	出席率	メイクアップ	確定出席率
9/28	57	37	8	71.15%	1	73.08%
10/5	58	46	8	86.79%		
10/12	58	40	5	80.00%		